

会計名 一般会計			田島征三展開催事業				担当部	市民活動部		
款	項	目					担当課	美術館		
10	5	7					担当係	美術館		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	文化・芸術							
		施策の内容	鑑賞・体験の機会づくり							
	目的	国内外で数々の絵本賞を受賞した一方、絵画も手がけ、ジャンルに縛られない独自の創作世界を切り拓いてきた田島征三の個展を開催することで、美術に対する理解・親しみを深める機会とし、芸術文化の高揚を図る。			主たる内容	絵本デビュー作や代表的な絵本を含む30余冊の絵本原画、さらに油彩画やリトグラフ等も加えた270点以上を展示し、その型破りな創作の全貌を紹介する。 ○会期 令和4年4月23日～6月12日（44日間） ○会場 全館 ○入場料 一般当日 1,000円 学生当日 800円				
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画							
			根拠法令	博物館法						
			対象者	対象者を限定せず		事業期間	令和4年度 ～ 令和4年度			
			実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 D 実績 O 計画 実施 V	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画		
		_____		_____		・講演会 1回 ・ギャラリー・トーク 3回		_____		
成果		田島征三本人を招いた講演会や、ギャラリー・トークのイベントを開催し、より身近に芸術に触れる機会を提供できた。								
課題		子どもに親しみやすい絵本関連の作品もあり、作品に触られないよう監視や注意の仕方を再確認する必要がある。								
指標名称（単位）					実績値		目標値			
					2年度	3年度	4年度	5年度	7年度	
活動指標		入場者数（人）				—	—	7,505	—	
活動指標		入場者アンケートの満足度（%）				—	—	91.6	—	
他市との比較検証		展示会の巡回地の会期…新潟市新津美術館：令和4年7月30日～9月25日								
C 事業コスト		単位：千円		2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳		
	事業費 ①		0	0	26,550	0	合計	26,549,706 円		
	財源	特定財源	0	0	8,334	0	報酬	3,451,598 円		
		一般財源	0	0	18,216	0	報償費	239,500 円		
	職員人件費 ②		0	0	45,175	0	旅費	197,580 円		
	総事業費（①+②）		0	0	71,725	0	需用費	4,830,095 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		4年度特定財源名称		委託料	5,225,140 円	
4年度までの累積事業費		0		入場料 冊子等頒布収入		負担金、補助及び 交付金	12,100,000 円			
6年度以降の事業費見込		0								

会計名			田島征三展開催事業	担当部	市民活動部
一般会計				担当課	美術館
款	項	目		担当係	美術館
10	5	7			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	博物館法で美術館行う事業として、実物（作品）等の資料を豊富に展示することが定められており、必要性が高い事業である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		高い	田島征三本人による講演会を開催し、身近に芸術を感じられる最適な機会となった。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	展覧会の企画運営は、専門的な知識を持つ学芸員の経験や手腕が必要となることから、市が主体となるのが妥当であり、第7次総合計画の施策にも位置づけられている。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		普通	コロナウィルス感染拡大防止に配慮し、マスク着用等の対策を行いながら、観賞の機会を提供することができた。
今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		

会計名		馬場のぼる展開催事業				担当部	市民活動部		
一般会計						担当課	美術館		
款	項					目	担当係	美術館	
10	5					7			
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	文化・芸術						
		施策の内容	鑑賞・体験の機会づくり						
	目的	絵本『11ぴきのねこ』シリーズで知られる馬場のぼるの個展を開催することで、豊かな創作世界に対する理解と親しみを深める機会とし、芸術文化の高揚を図る。		主たる内容	絵本や漫画の仕事を紹介するとともに、50年分のスケッチブック、味わいのある一枚絵や立体作品、また交友関係等も紹介し、人としての馬場のぼるに焦点を当てる。 ○会期 令和4年9月17日～11月6日（44日間） ○会場 全館 ○入場料 一般当日 1,000円 学生当日 800円				
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画						
		根拠法令	博物館法						
		対象者	対象者を限定せず		事業期間	令和4年度 ～ 令和4年度			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業 実績 O 実施 V	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画	
		—		—		・講演会 1回 ・読み聞かせイベント 中央図書館 4回 ・人形劇 総合文化センター 1回 ・着ぐるみ撮影会 15回 ・限定和菓子とお抹茶 12回		—	
成果		多種多様なイベントを数多く開催し、多くの来館者がより身近に芸術に触れる機会を提供できた。							
課題		グッズの売れ行きや来館者が予想よりも多く、入場待ち等の時間ができてしまい、スムーズな案内の仕方を再確認する必要がある。							
指標名称（単位）			実績値		目標値				
			2年度	3年度	4年度	5年度	7年度		
活動指標	入場者数（人）			—	38,879	—			
活動指標	入場者アンケートの満足度（%）			—	91.3	—			
他市との比較検証	展示会の巡回地の会期…八戸美術館：令和4年7月2日～8月29日								
C 事業 コスト	単位：千円		2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳		
	事業費 ①		0	0	28,265	0	合計	28,264,808 円	
	財源	特定財源	0	0	28,265	0	報酬	3,662,775 円	
		一般財源	0	0	0	0	報償費	110,000 円	
	職員人件費 ②		0	0	45,175	0	旅費	203,490 円	
	総事業費（①+②）		0	0	73,440	0	需用費	6,267,989 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		4年度特定財源名称			
4年度までの累積事業費		0		入場料 冊子等頒布収入					
6年度以降の事業費見込		0							
						委託料	6,361,850 円		
						負担金、補助及び交付金	9,240,000 円		

会計名			馬場のぼる展開催事業	担当部	市民活動部
一般会計				担当課	美術館
款	項	目		担当係	美術館
10	5	7			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	博物館法で美術館が行う事業として、実物（作品）等の資料を豊富に展示することが定められ、必要性が高い事業である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		高い	多くのイベントを開催し、身近に芸術を感じられる最適な機会となった。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	展覧会の企画運営は、専門的な知識を持つ学芸員の経験や手腕が必要となることから、市が主体となるのが妥当であり、第7次総合計画に施策にも位置づけられている。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		普通	コロナウィルス感染拡大防止に配慮し、マスク着用等の対策を行いながら、観賞の機会を提供することができた。
今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		

会計名			次期企画展開催準備事業				担当部	市民活動部		
一般会計							担当課	美術館		
款	項	目					担当係	美術館		
10	5	7								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	文化・芸術							
		施策の内容	鑑賞・体験の機会づくり							
	目的	次年度以降に開催を予定している企画展について調査研究、図録作成や広報等の準備作業を行うことで、事業の円滑な実施を図る。			主たる内容	企画展開催に係る調査研究、出品作品の選定、次年度春の企画展PR用ポスター・チラシ等の印刷、発送等の準備を行う。				
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画							
			根拠法令	博物館法						
		対象者	対象者を限定せず			事業期間	～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画		
		・次期企画展開催準備		・次期企画展開催準備		・次期企画展開催準備		・次期企画展開催準備		
成果		展覧会の準備・計画を行うためには、調査研究から出品作品の選定、交渉など多大な時間と予算が必要である。開催年度前から準備作業を行うことで、展覧会の充実が図ることができた。								
課題		新型コロナの影響が残ることを考慮しつつ、開催方法を検討する。								
指標名称（単位）					実績値		目標値			
					2年度	3年度	4年度	5年度	7年度	
成果指標	春季企画展時のアンケート展示内容満足度（％）		—	90.8	91.6	95.0	95.0			
成果指標	秋季企画展時のアンケート展示内容満足度（％）		—	87.5	91.3	95.0	95.0			
他市との比較検証	次年度以降の展覧会準備にかかる予算事業名及び内容…碧南市藤井達吉現代美術館：（次期企画展開催事業）旅費・ポスターチラシ印刷費等、豊田市美術館：（企画展調査費）旅費、名古屋市美術館：（特別展関係 調査・準備費）旅費									
C 事業コスト	単位：千円		2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳			
	事業費 ①		2,726	4,217	2,564	4,025	合計 2,564,377 円			
	財源	特定財源	0	0	0	0	旅費 833,190 円			
		一般財源	2,726	4,217	2,564	4,025	需用費 1,086,277 円			
	職員人件費 ②		5,600	4,164	4,141	4,210	役務費 240,910 円			
	総事業費（①+②）		8,326	8,381	6,705	8,235	委託料 374,000 円			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		4年度特定財源名称				
4年度までの累積事業費		0								
6年度以降の事業費見込		0								
						使用料及び賃借料 30,000 円				

会計名			次期企画展開催準備事業	担当部	市民活動部
一般会計				担当課	美術館
款	項	目		担当係	美術館
10	5	7			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など 		高い	企画展の準備は通常2～3年かかるものであり、企画展実施のためには必ず必要な事業である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など 		普通	企画展準備の過程で、効率性を考慮した事業計画を行なっている。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など 		高い	展示会の企画運営は、専門的な知識を持つ学芸員の経験や手腕が必要になることから、市が主体となるのが妥当である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など 		普通	企画展の準備を円滑に行なうことにより、「鑑賞と体験の機会づくり」に寄与する。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
今後もよりよい企画展を実施するために、企画展準備事業を実施していく。					

会計名 一般会計			参加・体験型美術教育普及事業				担当部	市民活動部		
款	項	目					担当課	美術館		
10	5	7					担当係	美術館		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系		分野	教育文化						
			基本施策	文化・芸術						
			施策の内容	創作・発表の機会づくり						
	目的		教育普及活動を行うことで、次代を担う子どもの想像力や創造力の育成を図る。		主たる内容	企画展関連のワークショップ及び夏休み・春休み期間中等の子ども向けワークショップを開催する。				
	位置づけ		関連計画	刈谷市文化振興基本計画						
			根拠法令	博物館法						
	対象者		プログラムにより個別に対象年齢を設定		事業期間	～				
	実施方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業 実績 O 実施 V	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画		
		・ワークショップ 5種7回 ・参加者数 154人		・ワークショップ 7種10回 ・参加者数 122人		・ワークショップ 6種9回 ・参加者数 123人		・ワークショップ 8種10回 ・参加者数 200人		
成果		新型コロナウイルスの影響に配慮し、参加人数を通常より減らすことにより開催することができた。								
課題		多様なプログラムを提供できるように、幅広いジャンルの講師の発掘とともに、プログラムの補助スタッフ（会計年度任用職員）の確保が課題である。								
他市との比較検証		ワークショップ開催数（回）・対象者…碧南市藤井達吉現代美術館：25・幼児と保護者～中学生以上、名古屋市美術館：16・小学生～中学生、豊田市美術館：3・小学生～成人								
C 事業 コスト	単位：千円		2年度 （決算）	3年度 （決算）	4年度 （決算）	5年度 （予算）	4年度 事業費内訳			
	事業費 ①		317	619	551	949	合計		551,072 円	
	財源	特定財源	4	12	25	25	報酬	36,890 円		
		一般財源	313	607	526	924	報償費	469,000 円		
	職員人件費 ②		2,240	1,893	1,882	1,914	旅費	930 円		
	総事業費（①+②）		2,557	2,512	2,433	2,863	需用費	36,502 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		4年度特定財源名称				
4年度までの累積事業費		0		講座受講料						
6年度以降の事業費見込		0								

会計名			参加・体験型美術教育普及事業	担当部	市民活動部
一般会計				担当課	美術館
款	項	目		担当係	美術館
10	5	7			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	博物館法で美術館が行う事業として、教育活動の機会を提供し、及びその提供を奨励することが定められており、必要性が高い事業である。また、学習指導要領（図画工作）において、地域の美術館を活用した鑑賞教育が項目に挙げられていることから必要性は高い。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	造形教育の専門家等がプログラムの講師をすることで、きめ細かい指導が可能となり、参加者の満足度の高いプログラムが実施できている。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	教育普及事業の企画運営は、教育活動に関する専門知識を持つ学芸員の経験等が必要になることから、市が主体となるのが最も望ましく妥当である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		普通	3歳児から中学生までを対象とした美術教育の体験を提供する民間施設等が少なく、市民サービスの向上に寄与している。 感染症対策として、マスクや消毒だけでなく、プログラムの内容にも配慮しながら事業を行うことができた。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
学校教育における図画教育の授業数が減少しており、学習指導要領において地域の美術館を活用した鑑賞教育等が奨励されていることから、教育効果の高い内容を企画運営し、参加者の発達段階に即した適切な事業を展開していきたい。					

会計名		施設管理事業				担当部	市民活動部		
一般会計						担当課	美術館		
款	項					目	担当係	美術館	
10	5					7			
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	文化・芸術						
		施策の内容	文化芸術の拠点づくり						
	目的	美術館及び佐喜知庵の適正な維持管理を行い、施設の環境を最適に保つ。		主たる内容	光熱水費、施設修繕料、建物清掃委託料など美術館・佐喜知庵の施設管理に関する費用を支出する。				
	位置づけ	第2次刈谷市文化振興基本計画							
	根拠法令	博物館法							
	対象者	対象者を限定せず		事業期間	昭和58年度～				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 計画	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画	
		・施設の維持管理、展示環境の整備 ・開館日数 222日		・施設の維持管理、展示環境の整備 ・開館日数 287日		・施設の維持管理、展示環境の整備 ・開館日数 283日		・施設の維持管理、展示環境の整備 ・開館日数 283日	
成果		施設、設備等が適切に維持管理ができ、来館者に快適な環境の提供ができた。							
課題		建設後37年を経過し、建物・設備の経年劣化が目立つ。施設の適正な維持、省エネルギーの観点からも計画的な施設・設備の更新を行うことが課題である。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				2年度	3年度	4年度	5年度	7年度	
成果指標		ギャラリーの展示室稼働率（％）			80.2	94.0	95.7	100	100
指標									
他市との比較検証		ギャラリー（貸館）の有無・展示室稼働率（％）…碧南市藤井達吉現代美術館：有・0.0、名古屋市美術館：無、豊田市美術館：有・35.7							
C 事業コスト		単位：千円		2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳	
	事業費 ①		31,619	34,529	41,046	46,825	合計	41,045,513 円	
	財源	特定財源	1,529	1,924	2,286	1,829	需用費	23,318,568 円	
		一般財源	30,090	32,605	38,760	44,996	役務費	547,217 円	
	職員人件費 ②		5,226	4,921	3,765	3,827	委託料	15,422,374 円	
	総事業費（①+②）		36,845	39,450	44,811	50,652	使用料及び賃借料	1,757,354 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		4年度特定財源名称			
4年度までの累積事業費		0		美術館使用料 電話料実費徴収金					
6年度以降の事業費見込		0							

会計名		施設改修事業				担当部	市民活動部		
一般会計						担当課	美術館		
款	項					目	担当係	美術館	
10	5					7			
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	文化・芸術						
		施策の内容	文化芸術の拠点づくり						
	目的	美術館の施設を整備することで、来館者に快適な施設空間の提供を図る。		主たる内容	○防犯カメラ改修工事				
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画						
			根拠法令	博物館法					
		対象者	対象者を限定せず		事業期間	～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 実績	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画	
		美術館の修繕 ・ロビー吹抜け照明取替工事 ・空調設備等修繕 ・非常照明修繕 ・2階ロビー排煙口修繕 ・空調用自動制御器不具合修繕 ・雨水排水路修繕 ・竹垣他取替修繕 他		美術館の修繕 ・空調設備改修工事 ・ハロン消火設備修繕工事 ・蛍光灯等取替修繕		美術館の工事 ・防犯カメラ改修工事		美術館の工事 ・Wi-Fi設置工事	
成果		美術館の設備工事は、予定されていた工事を実施し、来館者に快適な施設空間を提供できた。							
課題		施設・設備の経年劣化や補修部品の廃止等のため、建物・施設の改修、更新が必要な時期に達している。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				2年度	3年度	4年度	5年度	7年度	
成果指標		年間入館者数（人）		62,904	68,702	94,688	90,000	90,000	
活動指標									
他市との比較検証		令和3年度施設修繕額（千円）…碧南市藤井達吉現代美術館：2,281、名古屋市美術館：383,574、豊田市美術館：35,117							
C 事業コスト		単位：千円		2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳	
	事業費 ①		5,769	10,010	4,136	1,072	合計	4,136,000 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	工事請負費	4,136,000 円	
		一般財源	5,769	10,010	4,136	1,072			
	職員人件費 ②		4,480	2,650	2,259	2,296			
	総事業費（①+②）		10,249	12,660	6,395	3,368			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		4年度特定財源名称			
4年度までの累積事業費		0							
6年度以降の事業費見込		0							

会計名			収藏品等保存管理事業				担当部	市民活動部		
一般会計							担当課	美術館		
款	項	目					担当係	美術館		
10	5	7								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	文化・芸術							
		施策の内容	鑑賞・体験の機会づくり							
	目的	美術作品の劣化を防ぐとともに作品の修復を行うことで、美術館収藏品や借り受けた美術品の適正な保存管理を図る。			主たる内容	美術品動産保険、収藏品の修復、収蔵庫の燻蒸及び保存環境測定に関する費用を支出する。				
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画							
		根拠法令	博物館法							
	対象者	—			事業期間	～				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	BDO 事業実績 実施	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画		
		収藏品の適正な保存、管理 ・寄託作品の動産保険加入 ・収蔵庫・展示室等燻蒸 ・収藏品の修復、額装 ・新収藏品の撮影		収藏品の適正な保存、管理 ・寄託作品の動産保険加入 ・収蔵庫・展示室等燻蒸 ・収藏品の修復、額装 ・新収藏品と既存作品の撮影		収藏品の適正な保存、管理 ・寄託作品の動産保険加入 ・収蔵庫・展示室等燻蒸 ・収藏品の修復、額装 ・新収藏品と既存作品の撮影		収藏品の適正な保存、管理 ・寄託作品の動産保険加入 ・収蔵庫・展示室等燻蒸 ・収藏品の修復、額装 ・新収藏品と既存作品の撮影		
成果		収藏品の適切な保存を図ったほか、新しく収集した一部の作品等の額装や撮影を行い、展示の管理が可能な状態に整えることができた。								
課題		新たに収集した作品は状態のよいものばかりではないため、修復・額装は新収藏品を優先して行っており、対処できなかった作品は次年度以降の予算内で数点ずつ行っている。そのため修復・額装をはじめ、撮影を必要とする作品が大量に残っている状況である。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				2年度	3年度	4年度	5年度	7年度		
活動指標		修復、保存措置等をした作品数（点） （写真撮影、額装等）			279	117	215	150	150	
活動指標		上記のうち展示や収藏品データベース等に活用した作品数（点）			223	80	185	100	100	
他市との比較検証		修復、保存措置等をした作品数（点）…碧南市藤井達吉現代美術館：146、名古屋市美術館：7、豊田市美術館：106 収藏品点数（点）…碧南市藤井達吉現代美術館：2,039、名古屋市美術館：8,518、豊田市美術館：3,655								
C 事業コスト		単位：千円		2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳		
	事業費 ①		3,002	2,823	2,782	3,377	合計 2,781,700 円			
	財源	特定財源	0	0	0	0	役務費 61,950 円			
		一般財源	3,002	2,823	2,782	3,377	委託料 2,323,750 円			
	職員人件費 ②		2,240	2,271	2,259	2,296	使用料及び賃借料 396,000 円			
	総事業費（①+②）		5,242	5,094	5,041	5,673				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		4年度特定財源名称				
4年度までの累積事業費		0								
6年度以降の事業費見込		0								

会計名		業務管理事業				担当部	市民活動部		
一般会計						担当課	美術館		
款	項					目	担当係	美術館	
10	5					7			
PLAN概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	文化・芸術						
		施策の内容	鑑賞・体験の機会づくり						
	目的	作品選定や審査等の、適正な業務管理を行い、刈谷市美術館が收藏するにふさわしい美術品を収集することで、コレクションの充実を図る。			主たる内容	刈谷市美術館美術品審査委員会の開催費用を支出する。			
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画						
		根拠法令	刈谷市美術館美術品審査委員会及び選定委員会設置要綱						
		対象者	美術品審査委員会委員、市職員		事業期間	平成4年度 ~			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 実績 計画V	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画	
		・審査委員会 1回開催 ・委員数 5人		・審査委員会 1回開催 ・委員数 5人		・審査委員会 1回開催 ・委員数 5人		・審査委員会 1回開催 ・委員数 5人	
成果		刈谷市美術品審査委員会の審議を経て、美術品収集方針に沿った優れた美術作品や、貴重な資料の収集を行うことができた。							
課題		審査委員が高齢化していることもあり、後任の委員の候補者を検討する必要がある。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				2年度	3年度	4年度	5年度	7年度	
活動指標		審査委員会開催回数（回）			1	1	1	1	1
活動指標		審査作品数（購入・寄贈等）（件）			30	67	7	50	50
他市との比較検証		審査委員会開催回数（回）・審査作品数（件）…碧南市藤井達吉現代美術館：1・15、名古屋市美術館：1・3、268、豊田市美術館：1・98							
C 事業コスト		単位：千円		2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳	
	事業費 ①		90	728	536	999	合計	536,200 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費	64,100 円	
		一般財源	90	728	536	999	旅費	47,000 円	
	職員人件費 ②		3,733	3,407	3,388	3,444	委託料	425,100 円	
	総事業費（①+②）		3,823	4,135	3,924	4,443			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		4年度特定財源名称			
		4年度までの累積事業費		0					
6年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			一般企画展等実施事業				担当部	市民活動部	
款	項	目					担当課	美術館	
10	5	7			担当係	美術館			
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	文化・芸術						
		施策の内容	鑑賞・体験の機会づくり						
	目的	常設展示を行うことで、地域の人々に刈谷市美術館の収蔵作品等を紹介し、美術に対する理解・親しみを深める機会を提供する。また、呈茶事業を行うことで、気軽に茶道に親しむ機会を提供する。			主たる内容		収蔵作品を展示する常設展を、年4回程度開催する。また、一般市民向けの個人呈茶を実施する。		
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画						
		根拠法令	博物館法						
		対象者	対象者を設定せず			事業期間	～		
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業 実績 O ハ 実 施 V	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画	
		・第1期常設展「どうぶつパラダイス」29日 ・第2期常設展「New Collection展」20日 ・第3期常設展「没後10年瀬川康男展」19日 ・第4期常設展「絵画を愉しむ耳をすまして」34日 ・第5期常設展「大島哲以展」39日		・第1期常設展「寛忠治展」32日 ・第2期常設展「ミラクル・ミュージアム」39日 ・第3期常設展「New Collection展」43日 ・第4期常設展「花咲く絵画」44日		・第1期常設展「絵画を愉しむ抽象!？」31日 ・第2期常設展「Landscape」32日 ・第3期常設展「Memories」42日 ・第4期常設展「いきものパンザイ！」43日 ・個人呈茶日数 93日		・第1期常設展「追悼：高畑郁子展」27日 ・第2期常設展「こわい絵のひみつ」32日 ・第3期常設展「Homes」41日 ・第4期常設展「PYAY BACK2」42日 ・個人呈茶日数 100日	
成果		常設展は、美術と個々の収蔵作品に親しんでもらえるように、ユニークなテーマを設けて4期開催し、各展ともに好評を得ることができた。 令和3年度に実施できなかった個人呈茶事業を再開することができ、多くの人に利用してもらうことができた。							
課題		佐喜知庵の施設・設備・茶道具は、個人呈茶または貸切利用で毎日使用されるため、日常的な消耗・劣化が著しく、また十分な修繕や買替えが定期的にできていないため、計画的に修繕・買換えの予算化を行うことが課題である。							
O ハ 実 施 V	指標名称（単位）				実績値		目標値		
					2年度	3年度	4年度	5年度	7年度
	成果指標	常設展入場者数（人）			30,380	38,570	35,277	40,000	40,000
成果指標	個人呈茶人数（人）			0	0	1,782	2,000	2,000	
他市との比較検証	常設展開催日数（日）…名古屋市美術館：168、碧南市藤井達吉現代美術館：0（改修工事中）、豊田市美術館：230 常設展入館者数（人）…名古屋市美術館：96,033、碧南市藤井達吉現代美術館：0（改修工事中）、豊田市美術館：109,365								
C 事業 コスト	単位：千円		2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳		
	事業費 ①		1,789	3,610	4,549	5,164	合計 4,548,648 円		
	財源	特定財源	124	194	718	1,038	報酬	734,784 円	
		一般財源	1,665	3,416	3,831	4,126	旅費	21,220 円	
	職員人件費 ②		5,973	5,300	4,518	4,593	需用費	971,334 円	
	総事業費（①+②）		7,762	8,910	9,067	9,757	役務費	400,880 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		4年度特定財源名称			
4年度までの累積事業費		0		冊子等頒布収入					
6年度以降の事業費見込		0							

会計名			美術品等購入基金積立事業				担当部	市民活動部	
一般会計							担当課	美術館	
款	項	目					担当係	美術館	
10	5	7							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	文化・芸術						
		施策の内容	文化芸術の拠点づくり						
	目的	刈谷市美術館等購入基金の運用収入金を基金へ積立てることで、基金の適切な運用を図る。			主たる内容	美術品等購入基金の利子の積立てを行う。			
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市文化振興基本計画						
			根拠法令	刈谷市美術品等購入基金条例					
		対象者	対象者を設定せず		事業期間	～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	D 実績	2年度実績		3年度実績		4年度実績		5年度計画	
		・運用収入金を基金に積立 463,726円		・運用収入金を基金に積立 417,234円		・運用収入金を基金に積立 507,615円		・運用収入金を基金に積立 298,103円	
成果		美術品等購入基金の利子を積み立てることで基金の増額を図った。							
課題		経済状況の悪化に伴う預金利率の低下により収益効果が悪化した。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
成果指標	運用収入金（千円）		2年度	3年度	4年度	5年度	7年度		
指標			464	417	508	299	—		
他市との比較検証	購入基金の有無…碧南市藤井達吉現代美術館：無、名古屋市美術館：有、豊田市美術館：無 基金額（内現金）・運用収入額（円）…名古屋市美術館：400,000,000（110,742,700）・0								
C コスト	単位：千円		2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（決算）	5年度（予算）	4年度事業費内訳		
	事業費 ①		464	417	508	299	合計	507,615 円	
	財源	特定財源	464	417	508	299	積立金	507,615 円	
		一般財源	0	0	0	0			
	職員人件費 ②		747	757	753	765			
	総事業費（①+②）		1,211	1,174	1,261	1,064			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		4年度特定財源名称			
4年度までの累積事業費		0		美術品等購入基金積立金利子					
6年度以降の事業費見込		0							